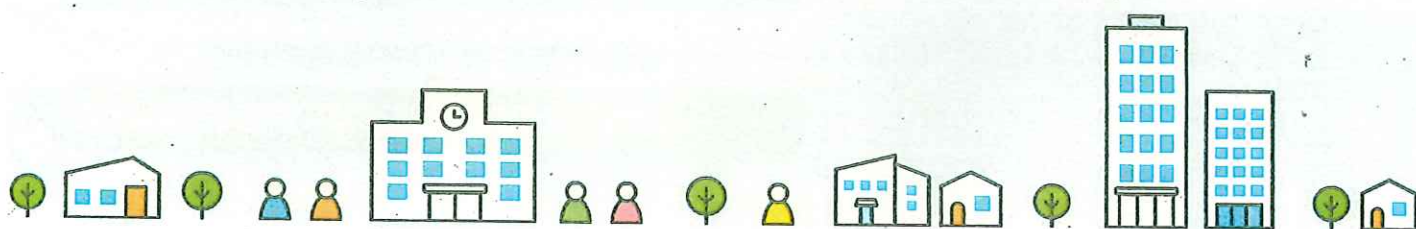


学習指導要領の改訂に向けた諮問のポイントと審議状況について

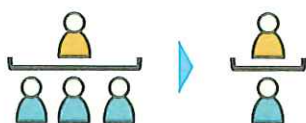


検討においてどのような前提があるか

子供たちを取り巻くこれからの社会

少子化・高齢化、グローバル情勢の混迷、生成AI等デジタル技術の発展等、社会や経済の先行きに対する不確実性がこれまでになく高まっており、子供たちは激しい変化が止まることのない時代を生きることになる。

少子化・高齢化

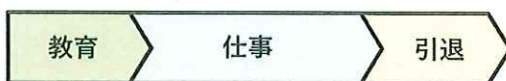


デジタル技術の発展等



マルチステージの人生

これまで



これから



グローバル化



テクノロジーの変化によるチャンス



子供たちにとって重要なこと

自らの人生を舵取りする力を身につけること



持続可能な社会の創り手となること



豊かな可能性を開花できること



現行の学習指導要領が目指していること

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実



何ができるようになるか

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な知識や力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化

高校の新科目「公共」の新設

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す



どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善



新しい時代に求められる資質・能力の育成を図るための学習過程の質的改善

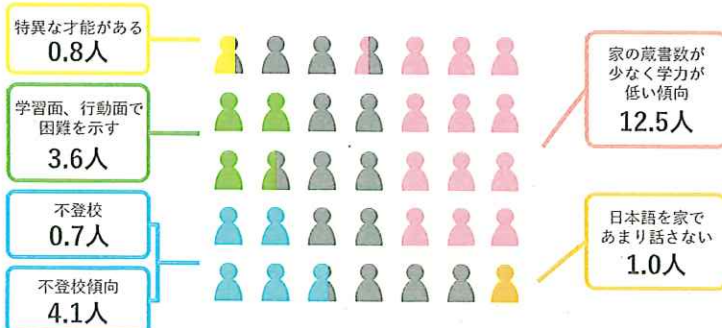
子供一人ひとりに目を向けた時に見えてきた課題

多様性を包摂し、可能性を開花させる教育の必要性

「正解主義」や「同調圧力」への偏りから脱却するとともに、民主的かつ公正な社会の基盤として学校を機能させ、分断や格差の拡大を防ぎ、共生社会を実現する観点からも重要

-小学校35人学級における子供の多様性*-

*各種調査に基づく出現率から算出



学習指導要領の理念や趣旨の浸透が道半ば

子供の社会参画の意識

知識と現実の事象を関連付けて理解

将来の夢を持つ子供の割合



深い理解を伴う知識の習得

自律的に学ぶ自信

「自分の考え」を書くこと



デジタルを活用した効果的な学びについて

「デジタルか紙か」といった二項対立

効果的な活用はまだこれから

デジタル競争力は国際比較でも低位



バランス感覚を持って、積極的に活用する

一人一人の良さを伸ばし、困難の克服を助ける

デジタルの力でリアルな学びを支える

